# WIPO世界知財指標2026と日本企業の知財戦略

2025年の世界特許出願は過去最高の394.9万件に達し、アジアへの集中が一段と加速した。日本やインドの出願急増の裏にある構造課題を分析し、出願「件数」の追求から「企業価値最大化」へ向けた戦略転換が必要である。

## グローバル知財の構造変化と日印の実相

### アジアへの極度な集中



世界純増の94%を占有

**94%**



アジア4カ国

### 日本の出願急増の裏側



国内偏重
本人出願率24.5%急騰が牽引

**24.5%**



### インド10万件突破の実態

**10万件超**



学術機関偏重の一方で
外資GCCが拡大



学術機関　外資GCC

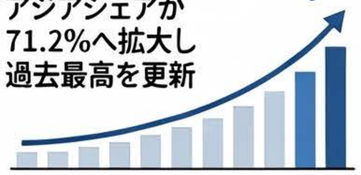
### 2025年における主要知財カテゴリーの成長性と構造変化の比較

**特許** (394.9万件)

**+6.0%**



アジアシェアが
71.2%へ拡大し
過去最高を更新

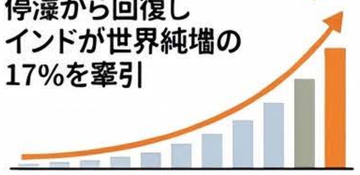


**商標** (1,592.3万クラス)

**+4.1%**



停滞から回復し
インドが世界純増の
17%を牽引

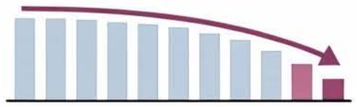


**実用新案** (272.5万件)

**-16.3%**



中国の「量から質へ」の
政策転換により大幅減



## 日本企業が目指すべき5つの知財戦略




Gemini Notebook